



平成 30 年 3 月 14 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号  
株 式 会 社 山 王  
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治  
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 浜 口 和 雄  
電 話 番 号 0 4 5 ( 5 4 2 ) 8 2 4 1

### 平成 30 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 29 年 9 月 13 日に公表した、平成 30 年 7 月期（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 7 月 31 日）における第 2 四半期の連結業績予想数値と、本日公表の連結実績数値との差異につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

#### 1. 第 2 四半期連結業績予想との差異について

平成 30 年 7 月期第 2 四半期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 29 年 8 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,750	35	20	5	1.08
当期実績値(B)	4,132	105	86	73	15.96
増減額(B-A)	382	70	66	68	
増減率(%)	10.2	200.6	334.9	1,373.5	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 7 月期第 2 四半期)	3,639	61	92	159	34.60

#### 差異の理由

当第 2 四半期連結累計期間は、自動車部品の電子化や工場の自動化・I o T 化の進展に伴う車載・産業機器向け市場での旺盛な部品需要に対応するとともに、主力市場である通信・民生品向け市場での高速伝送に対応した新製品需要を取り込むべく積極的な営業活動を行ってきたことから売上高は前回発表予想を上回りました。

また、損益面では、上記の売上高の拡大に加え、製造面でも生産性向上に努めてきたことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益についても前回発表予想を上回りました。

尚、通期業績予想につきましては、下半期の外部環境及び業績に与える影響が不透明であることから、平成 29 年 9 月 13 日に公表した業績予想数値を据え置くことといたします。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

以上